

## 1. ドローン実証の目的

行政ニーズに的確に対応した汎用性の高いドローン本体の標準的な性能規定等を通じた早期実装を図るため、国土交通省の現場を活用したドローン実証を実施し必要なデータ取得等を行う。

## 2. ドローン実証の手法

本業務の受託事業者及び講習を受けた職員等（国土交通省職員、測量等事業者）が各ユースケースにおいて、測量等の各種要領等に基づきドローンを操作しデータを取得する。

## 3. ユースケース・実証現場等（令和3年度）

### ・ユースケース

物資輸送、点検、観測

### ・実証現場（案）

東京都（江東区、江戸川区）、川崎市、  
大阪市、高知県（香南市、宿毛市）等

### ・訓練講習会

事務局から職員等に対し、関東近郊にて  
2日間の座学・実技を想定

### 使用機材（予定）

#### 物資輸送

PF2  
(ACSL)



高ペイロードドローン  
(Pro Drone)



E6106FLMP  
(EAMS)



TSV RQ1  
(東光鉄工)



#### 点検・観測

蒼天  
(ACSL)



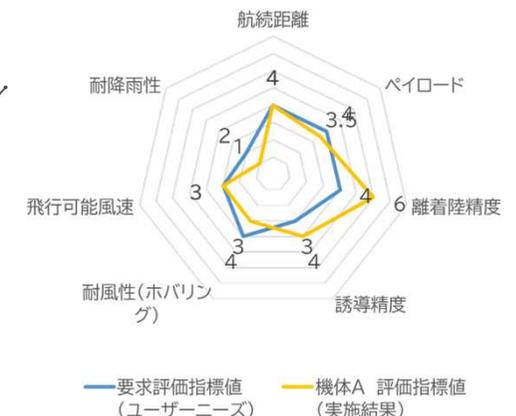
PD4XA1  
(Pro Drone)



Airpeak  
(sony)



### II点検(a)港湾 性能評価 機体A



## 4. 取得データの評価、性能評価イメージ

無人航空機性能評価手順書（NEDO）に基づく評価結果に関する開発事業者ヒアリング、取得したデータの精度等確認、ドローンの使用感等ヒアリングを行い、機体ごとに性能評価を実施する。